

2017/5/23

不登校担当教員研修会公開講座

「明日からすぐに使えるマルチレベルアプローチ（包括的支援）で不登校対策」

神戸親和女子大学 金山 健一 教授 ※県立但馬やまびこの郷 虹の館（13：30～）

みなさんこんにちは。金山と言います。神戸に来てまだ1年しか経ってなくて今まで広島の方の勤務していました。出身は札幌で中学校の教師として3校勤務して色々な流れで今神戸に来ているという流れです。僕も生徒指導をずっと長く対応してきて、どんなことをやったらいいのだろうと模索しながら生きてきました。先生方とこうやってお話ができることを楽しみにしています。今日は、色々な先生方がいらっしやるとお聞きしていますので、先生方申し訳ありませんけどもこんなところから始めたいと思います。お疲れの先生方もいらっしやるかもしれませんのでハイタッチから行きたいと思います。全員起立して、5、6人でパンパンと手をたたいていただいてもいいですか。「がんばるぞ」でハイタッチをお願いします。それではどうぞ。声が小さいですね。

これからですね、近くにいる先生方は、たぶん同じ学校の先生とかお知り合いの先生方が多いと思いますので、ちょっと席替えをしたいと思います。女性の先生方ばかりにならないように、また、男性の先生方ばかりにならないように男女混合の3人チームで座っていただきたいなと思います。できれば知らない先生とチームを組んでください。よろしく願いいたします。

それでは、3人合わせて2分間で自己紹介をお願いします。それでははじめます。明日から使えるマルチアプローチということなのですが、マルチレベルアプローチを包括的支援モデルということと呼んでいます。みなさんどうですか。フリーターは155万人くらい、小中の不登校は12万、高校の不登校は5万、高校退学は4万9千、加害児童生徒数、暴力を振るう子たち5万6千、いじめ12万5千、少年犯罪4万人くらいです。引きこもりやニートはどれくらいの数いると思いますか。隣の人と相談してみてください。ちょっと聞いてみます。引きこもり10万人くらいと思われる方、手を挙げていただきますか。2人くらい。20万人増えましたね、10人くらい、30万人5、6人、40万人、どこまで行けばいいでしょうかね。55万人って方います？だいたい予想つきましたね。55万人です。ニートがだいたい56万人、実際に引きこもりは54万人と言われてはいますが、その数は本当でしょうか。実際には様々な研究機関が出している数字では160万人なのです。例えば、NHKの調査とか、引きこもりの親の会の調査とか広島大学の調査とか160万という数字を出しているのです。さてなぜ引きこもりの数を54万人と内閣府の数字が少ないかというところとわかりやすく言うと内閣府はお金をいっぱいもっているから手紙をいっぱい出したのです。つまり、引きこもっている人にアンケートに答えてくださいねって。あなた引きこもって何やっていますか？あなたの引きこもりの原因は何ですか。どうやったら引きこもりからたちなおれますか？って。引きこもっている人、みなさんアンケートに答えます？出した紙に対して戻ってきた紙が少なくても54万人と出している。160万人って成人比の人口で割ったらいくらくらいですか。わかりやすく言うと12.5人に一人、つまり、40人学級に3人っていうこと。先生方のクラスに3人くらい。勉強はできるのだけでも人間関係ができないって子どもいませんか？発達障害がかなりひどくて人間関係が作れない子いませんか？友達作りが全く苦手だという子いませんか？つまり、もうそういう子たちが必ずそういうになる可能性が高いということ。今日のテーマは、不登校のテーマなのだけでも最終的に小学校、中学校、高校では不登校と知っているけども、最終的に引きこもってしまうってことを念頭にどうしたらいいの？という話をして行きたいなと思っています。

さて、こっち側のデータを見る。引きこもり親の会で164万人、NHKで160万人と出している。内

閣府の引きこもり数を出すと数が多くなるけども、相当数の引きこもりがいるということ。僕は中学校の教師を長くやってきましてけども、一番大切なのは、あつすいません。小学校の先生は、どれくらいおられますか？結構おられますね。中学校の先生は？高校の先生は？特別支援学校の先生は？教育委員会の方、センターの方は？中学校の教師を長くしてきて、一番重要なことは、同じ山に登ることだと考えています。同じ山に登るってことは、数学の教師だったのでですけど何かをそろえてってことなんですけど、数学の用語で何を入れますか？隣の方と相談してください。カタカナ四文字、ベクトルをそろえるってことがすごく重要だなど思っているのです。中学校の教師だったので同じ感覚だと思うのだけでも、簡単に言ったら、学年の指導ラインが違ふと学校って荒れるじゃないですか。例えば服装の指導ラインが違ふとか、時間の守らせ方の指導ラインが違ふとか、方向性が同じじゃないと学校は荒れると考えているのです。同じ山に登るうえで重要なことは、先生方の仲が良いということだと思います。結構、生徒指導が大変でも先生方の仲が良ければ耐えてこられるじゃないですか。隣同士聞いてみてください。仲がいいかどうか。仲がいい方？結構いますね。ありがとうございます。後は聞きませんけどね。

次にモグラ叩きの生徒対応から予防的な生徒対応へということを提案しているのは、マルチレベルアプローチの一つの流れです。マルチっていろいろレベルに応じてってことです。つまり、今まで僕たちは、いじめが起こってから対応しよう、不登校が起こってから対応しよう、何が起こってから対応しようってやっていて、疲れちゃったのです僕も。だからもう予防的なものやっていこうよ。今日は時間の関係でいくつかの予防的な提案をしたいなと思っています。

3番目に、ホームランバッターより3割バッターということで、ここにいる先生方の中でなんでもできる先生がいるのですよ、実は。生徒指導もできる、部活動指導もピカイチ、保護者からの信頼もある。授業もうまい。その先生が、生徒指導を一点に支えている。そういう先生がいるのだけでも、そういう先生が一人で支えている学校は、比較的弱いのですよ。その先生が転勤したとたんその学校は力を失っていくのですよ。そして学校が悪くなっていく。何度も見てきました。だから僕は、3割バッターが多い学校が強いなと思っているのです。つまり、野球で言ったら、バントの得意な先生がいる。守備の得意な先生がいる。声を出すがうまい先生とかさまざまな先生が個性を発揮できている学校が強いなと思っているのです。それから学校の力って言うのは教師の力量の総和かけるここに何が入りますか？漢字2文字なんですけど、「そ」で始まります。隣の人とを考えてみてください。組織、僕は組織力と考えているのですよ。つまり学校の力は、A先生の力+B先生の力+C先生の力なのですよ。けども組織力はかけ算なんだから組織力が0だったら学校の力として0になっちゃうと考えています。けど、組織力、誰が上げるの？ってこと。もちろん校長先生が上げることがもっとも大切ですけど、僕は、気づいた先生が上げるべきだと考えているのです。それは若い先生かもしれません。学年主任の先生かもしれません。養護教諭の先生かもしれません。気づいた人が組織力を一つずつ上げていこうよって提案しています。

4番目で進路指導・学習指導は極上の生徒指導と考えているのですけども、昔、少年院に僕の教え子が入っていたときの話なのですが、彼らも酒を飲める年になって、酒を飲むことになった。その時、彼らに聞いてみた。「なんでおまえたちは、授業に出ないで、校舎をぐるぐる徘徊して給食だけ食べて帰るんだ？」って。そういう子いませんか？給食だけ食べて帰る子たち。そういう子どもを見たことあるなっていう先生は、手を挙げてみてください。結構いるでしょ？中学校の先生多いのだから。分かります、気持ちが、それで。聞いてみたら、「だって先生、おれらずっと授業に出てないんだよ。急に授業に出て勉強したら何かがバレル」と言ったのですが、何だと思えます？二文字ちょっと隣と相談してください。勉強したら「バカ」がバレルと言ったのですよ。僕、その時、大失敗しました。あっ、みんな勉強したかったのだと思いました。だってずっと授業出てないのに僕、数学だったから急に二次関数やっても分かるわけがないものね。急に英語できな

いのに現在完了やったって分かるわけがないものね。それから僕は反省して、どんな子も勉強したいのだということで手のかかる子ほど勉強を教えるようになった。だから進路指導・学習指導は極上の生徒指導と考えているのです。

あと5番目が、今日のテーマの一つです。不登校を防ぐ一番のポイントなのだけでも、子どもと子どもをつなげる、つなげることを心理学でなんと申しますかね。英語でもいいや。英語の先生どれだけいますか？質問変えます。スパイ映画、何が浮かぶか相談してみてください。007が浮かんだ方？半分くらいいますね。ミッションインポッシブルが浮かんだ方？こっち側の先生が若い先生です。007の主人公誰ですか？ジェームス・ボンド。答えは、何ですか？ソーシャルボンドといいます。つまり僕たちは、意図的にソーシャルボンドづくりをすることが不登校対策に最も有効だということです。誰かと誰かがつながっているということが一番重要だということ。いじめもそう、誰かと誰かがつながっていればいじめはひどくならない。意図的に人間関係をつなげていくことが重要。僕はずっと生徒指導をやってきたのだけでも気持ちは分かるけど行動は認めないってことをずっとやっていました。こんな子がいました。父ちゃんが暴力的、家で酒飲んで暴れる、母ちゃんはその父ちゃんが嫌で家出する。若い男についていなくなる。息子はオートバイを窃盗するなどいろんなところで悪いことばかりしている。その時、何て声をかけますか？親は、もうたいへん劣悪な状態になっている。子どもも悪い。その時に気持ちは分かる、暴力的なのは父ちゃんが悪い。母ちゃんが出て行ったのは母ちゃんが悪い。だけでも君が万引きしたり、恐喝したりするのは君が悪い。気持ちは分かるけど、行動は認めない。それから、何対応で8割決まる。何が入りますか？初期対応で、モンスターペアレントとよく言われるけど、初期対応を失敗しなければそれなりに治まっていくと思うのです。担任を孤立させない学校体制ができていないか、それと褒めるっていうことも重要視している。とにかく褒めて伸ばそうということで直接、仲間に忘れた頃にとということで、例えば健一が、学校祭でがんばった。健一に直接褒める。「健一がんばったな、今回の学校祭」今度、健一と健一の仲間の前で褒める。「なあみんな、健一、今回の学校祭がんばったよな」と健一の自己肯定感が上がるのですよ。それから、健一が忘れた頃に「なあ健一、もう学校祭から1ヶ月も経ったけどもほんと健一、がんばってくれたな」そうすると、また同じ行動を取りたくなる。脳から何が出ますかね？理科の先生は？脳内物質何が出ます？ドーパミンが出ますよね。つまり、僕が教員になった頃、褒めて伸ばせと教えられました。でもね、今、脳科学が進歩していますので、ドーパミンを出すために褒めるっていうのが正解らしいですね。褒められるとまた、同じ行動を取りやすくなるってこと。

それから僕は、現場で家庭訪問、それから基準は明確で同じ基準で、小学校の先生が何人かいられると思うのですが、学級崩壊ってあるじゃないですか。中学校の場合、学級崩壊って少ないのですよ。学年が崩壊するから。学年崩壊なのです。どっかの学年が崩れているっていう言い方をします。何とかに慣れてないと学年崩壊、学級崩壊になるのだけでも「だ」から始まるのですか何ですかね？ダブルスタンダードになったら崩壊しますよ。二つの基準があったら。簡単に言ったらいつもうるさい健一がいる。いつも健一はルールを守らない。でも健一に注意すると面倒くさくなるのですよ。だんだん。いつも反抗するから。そうすると僕たち教師は、一般の子どもにはルールを守らせようとするのですよ。そうすると一般の子どもたちにはルールを守らせようとする。健一には注意しても仕方ないなと諦める。そうしたら一般の子たちから見ると「なんで俺たちばかり注意されるの？」「なんで健一だけ特別扱いされるの？」そこからダブルスタンダードになってそこから信頼を失う。どうしたらいいの？ダブルスタンダードにならないためには。そういう時は、健一を必ず個室に呼ぶ。健一も怒られているのだからという姿を子どもたちに見せるってことをやってきました。

さて、こんな話を一つ概略のところでもやりましたが、なぜ僕がこんな考えになったかという僕が札幌

市の中学校にいましたけど、札幌の中学校は、公立中学校だけで110校あるのですよ。190万くらい住んでいるので、神戸よりちょっと大きい感じですね。公立の小学校は230校ありました。僕が行った中学校は、だいたい110校ある中学校のうちの105番とか106番、底辺校といったら変なのだけで学力的にはきわめて低い地域にいました。校舎は穴凹だらけ、あちこち穴が開けられているのです。校長先生がおもしろい人で「金山先生、こんなに学校ひどいのだけでも、一つだけ自慢があるのです。うちの学校、一度も消化器をばらまかれたことがない」ってことが自慢なのです。消化器一本あったら、この体育館一本で真っ白になってしまうくらいなのです。荒れている学校は入学式の前日とかに消化器をばらまくのですよ、子どもたちは。消化器ばらまかれたことのある先生はどのくらいいます？結構いるでしょ？20人はいますよ。すごく共感を覚えますよ。そんな消化器はばらまかれない学校なのだと思ったら、教頭先生が「校長先生、消化器ばらまかれると思って全部理科準備室に集めてありますよ」って言われて、理科室に行くと消化器30本ほど集めてありました。そんな学校でした。生徒はいつも通り暴れて暴れてどうしようもないとにかく子どもたちと争うということで毎日、夜の10時前に帰ったことはないですし、一年間ずっとそういう生活していました。二年目になって何となく子どもたちと話が通じるようになってきました。三年目になってきたら、結構、問題行動がなくなってきました。そして札幌市の研究委託校の指定されるようになりました。モデル校に指定されるまでになった。僕がやったのではなくて、先生方のチームでやりました。つまりどういうことかっていったら、どんな学校も立ち直る。どんな先生も立ち直る。どんな学級も立ち直る。僕の信念で動いているところです。

さてですね、学級の満足度をすごく重要視していて、学級が満足であれば、ストレス減るし、攻撃性が減るし、いじめも減るし、不登校も減るし。学力も向上するってことが分かっているのですよ。今までは、いじめはどうしようどうしよう、不登校どうしようどうしようってやっていたのではないですか。そうではなくて、クラスの満足度、つまりもう一回学級経営を見直してみようよっていう提案なのです。それと同じように、学年主任の先生方、学年経営をもう一回見直してみようよってご提案をしたいと思います。さて、包括的支援モデルこういう風な組み立てになっています。砂時計だと思ってください。下に落ちこちて行かないイメージです。1次支援、2次支援、3次支援とあります。1次支援では、教育課程、年間計画の中に予防的なものを入れていこう。SELやPBISと書いてありますけども、それはちょっとおいといて、いろんなところに入れてきているプログラムの名前なのですけども。つまり、今、コミュニケーションが問題になっています。先生方の学校で、コミュニケーションを向上させるプログラムを入れてますか？今、ネットが問題だと言われてますよ。ネットが問題だと言って、ネットを予防するプログラムを教育課程に入れてますか？いじめが問題ですけども、いじめを防止するプログラムを教育課程に入れてますか？そういうのを予防的に入れていこうよと提案しているということです。それでもうまくいかなかったら、先生方によるチーム支援でなんとかしようよ、子どもたちの力を生かしたピア・サポートをやっていこうよって考えています。後は、具体的にやっていきましょう。それでも、もしうまく行かない子がいたら、その時は関係機関とうまくこちらの方の施設とかと連携しながらやっていこうよという考え方を取っているということです。ピア・サポートっていうのもずっとやってきているのですけども、学生たちに教えているやつなのですけども、4月の学級開きにはこんなことをやる、5月ではこんなことをやると全部決めているのです。それでクラスが楽しくなるようなことをね、意図的に人間関係をつなぐことをやっています。ちょっとサイコロの数、間違えてもってきちゃったのです。先生方のとこにすごろくありますか？それでは、6人1組で前の方が後ろに向くような感じでお願いしたいのですけども。これをちょっと真ん中においてスタートのところ消しゴムとか自分の目印になるようなものを置いてみてください。先に説明しますよ。1の目が出たら親友と出ます。親友が出たら自分の親友は例えば大学時代のゼミの仲間ですと答えていきます。ちょっとそれ

に誰かが質問してもいいです。全員が親友について語るわけではありません。2の目が出たら好きな動物ってです。うちは猫飼っています。どんな猫飼っているのですか？など。ちょっとコミュニケーションを増やしていくプログラムです。じゃ目印を何か用意してくださいね。じゃあ始めてください。お願いします。

はい、ありがとうございました。ちょっとお聞きしますけど、どのくらいの時間やられたと思います？20分やられたという方？4名。15分、30名くらい。10分なのですよ、実は。わかりますか？つまり10分でコミュニケーションって結構できるのですよ。4人一組がちょうどいいかもしれません。6人だとなかなか自分の番が回ってこない方いたでしょ。さて、今やったのは、小学校、中学校、特別支援で使えるかどうかを検討してみてください。2分間くらい検討してみてください。

「小学生には難しい言葉があるということとでも中学生には使えそう」小学生なら使えないところがあるのですよ。例えば人生とは、って先生人生とは何ですか？って分かるでしょ。小学校の発達段階に応じてやること。小学校ならたとえば、好きなアニメとか。するととてもいいと思います。中学校以上だと結構使えると思います。一番人気があるのはPTAです。PTAでやるとすごく人気があります。PTAのお母さん方、なかなかつながらないでしょ。こうやってつなげてあげること。今日、不登校のことで来ているのだけでも、これどこで使っていると思います？学級経営の最初の学級開きでよく使っているのだけでも、例えば修学旅行の班の決まったときに使うしね、あと重要なのは、保健室登校で来ている子がいるでしょ？そのとき、会話がないうちに保健室に来ている子たちとクラスの結構気の利く子たちいるでしょ。その子たちと一緒にグループでするととってもいい感じになります。自己開示できるし、他者理解できるし、そういう〇〇を使っているということですね。実際いろんなことでやってきているのだけでも、例えば、ピアサポートのプログラムばかりじゃないのだけでも、ほかのプログラムも入れているのだけでも、岡山県に総社市っていう町があります。そこに包括的支援モデルっていろんなプログラムを入れているのだけでも、不登校が激減しているのがわかりますか。赤でね。そして、この色はマスカットの色、岡山県です。そして紫は全国です。包括的支援モデル、さっきやった砂時計モデル・・・つまり、教育課程の中に今日のようなすごろくなんかでクラスを楽しくしちゃうってこと。これが重要ですよってこと。例えば、不登校ばかりじゃなくて、これは、警察に捕まった数なのです。包括的支援モデルを入れる前、平成21年は205人警察に捕まっていた。学級が楽しくなるプログラムを全市で展開すると激減していることがわかります。つまり学校が楽しいから外で悪いことする必要がなくなるってことです。さっきやったプログラムの・・・

実際、6人が捕まっているのだけど、実は姫路の子なのです。転校生が来ていて、たまたま遊びに来ていて、そこで捕まったのです。本当は0だったのです。例えば、学力の問題。学力もクラスが楽しければ勉強があがるのです。これも総社市で書いていますが2011年、総社は平均以下だったけども、包括的支援モデルを入れたら岡山県でトップになった。だからプログラムでやっていこうよって提案をしているということです。今日は、岡山市より学力が高い、例えば保健室登校、包括的支援モデル、マルチレベルアプローチを入れている保健室の数ね。保健室の相談件数。上の方は、プログラムを入れていない学校。下の方は、すごく保健室に相談に来る。でもクラスですごく楽しいプログラムを展開すると保健室に来なくなるということ。だから、予防的なことをやっていこうよということを提案しています。

皆さんのお疲れ度を測ってみましょう。これ何に見えますか？隣の人と何に見えたか確認してみてください。おばあさんに見えた方、手を挙げてください。若い女性に見えた方は？圧倒的に多いですね。両方見えますか？僕、心理学の教員なのですが、実は、最近年とってきたなって思う人はおばあさんに見えますよ。

不登校といじめの問題についてみましょう。中学校になるといじめが激変する。今、小学校でも大変なことになっているけど、中学校もいじめ、激戦区なのです。中1になったとたんになる。これ中1ギャップって言っているでしょ？じゃ中1ギャップをどうやって改善するのってこと。これもね、小学校の加害児童

生徒数、小6から中1になったとたんに暴力振るう数急激に増えるのです。中学校大変なのですよ、実は。最低の場合こうやって言われるのですよ。小学校の先生には、僕も中学校にいたからよく分かるのですが「小学校でしっかり育てたのに中学校に行っても悪くなるのです」って言われるのですよね。中学校は大抵ね「小学校でもっときちっと育ててほしかった」とか言うのですよ。経験ありません？そういうの。うなずいている方結構いるでしょ。不登校もそうなのですよ。今、高校で問題になっている単位制高校の不登校。不登校の子がみんな集まっているのが現状。単位制の高校に。なぜ、中1ギャップが起きやすくなって話をします。人間は環境が変化すると自分らしさが出せずに何する傾向があると思います。「ひ」から始まります。引きこもるといふ傾向が出るのです。必ず。ぼくも、広島から神戸の大学に来ました。誰一人、知り合いいません。研究室でひとりぼっちでした。ほとんど引きこもっていました。先生方どうですか？転勤したこととか、転校したこととかあるじゃないですか。その時、その時すぐに自分らしさ出せますか？自分らしさ出しにくかったなと思われる方、どもくらいいますか？ちょっと手を挙げてみてください。後ろ見合わせてください。ほとんどの人がみんな手を挙げていますよ。わかります？環境が変化すると、自分らしさが出せないのですよ。だから4月、5月にどれだけ丁寧に対応するかってことが不登校防止にとっても大切なことなのです。そのためには、友達ができるか？ということなのです。だから、さっきのすごろくみたいなのがいいと思いますよ。それともう一つ、4月、5月に暴力的になるのは、ディスプレイっていう概念が起きるのです。どういうことかって言ったら、ディスプレイっていうのは、けんかしないでボス猿を決める手段、おれは強いのだってことでチンパンジーが大きな石を投げてみたり、金網をバチャバチャやってみたり、奇声を挙げてみたり、おれは強いのだ。ていうのがディスプレイです。ぼくは、昔、中学校の教員をやっていたとき、こういう髪型の先生、結構いましたよ。絵で描きますが、笑わないでくださいよ。リーゼント。これもディスプレイなのです。必ず、ディスプレイをする。つまり、環境が変わると、片方のグループは、引きこもる傾向がある。もう片方のグループは、ディスプレイしやすくなる傾向がある。それが合わさったときに、中1ギャップが起きるといふことですよ。だから中1ギャップをうまく乗り越えさせるには、不登校にとって重要なテーマなのですけどね。

学級集団には、学力の関係なのだけでも、オーバーアチーバーって書いているのは何かっていうと、100の知能あるのに120取ることをオーバーアチーバーっていいいます。実力以上の点数を取ることです。アンダーアチーバーっていうのは100の知能があるのに、80しか取らない。能力以下の成績を取ることをアンダーアチーバーといひます。学級形態にも三つあります。一つは「管理型」学級。先生が何でも管理する。先生がクラスのルールを決める。先生が全てを決める。目標を決める。もう一つは「なれ合い型」学級というのがあります。先生と子どもたちが友達みたいになっている。もう一つは「満足型」学級。うちのクラスは楽しいなっていうクラスです。もう一度言ひますよ。管理、なれ合い、満足。どの学級経営が学力を上げるでしょうか？書いてもらっていいですか。横に中学校のもあると思います。見てください。よろしくお願ひします。ちょっと3人一組で隣の方と見あっこしてください。最初の所に何を入れましたか？満足型学級を入れた方はどのくらいいますか？管理型学級を入れた方？なれ合い型学級を入れた方、一番多かったのは満足型学級だったのだけでも、満足、管理、なれ合いの順番なのです。つまり、どういうことかって言うと、クラスが楽しい満足型学級を作っている先生のクラスが一番学力が高いのです。先生が管理する学級は、低いのです。なれ合い型学級は、一番低いのです。学級の中でわいわいわいやっているような感じがして、授業も活発に見えるけども、定着しないってこと。わかりますか？なぜぼくはこれをもってきているかは不登校の中で一定層、勉強が分からなくて不登校になっている子が結構いるのです。人間関係で不登校になっている子は、さっきやったすごろくのような対応でいいですよ。人間関係づくりをやっていけばいい。勉強が分からなくて不登校になった子たち、だから満足型学級でやっていくしかないってこと。

中学校も同じなのです。満足、管理、なれ合いという順番なのです。中学校、満足型学級が一番学力が高くなっているのです。なれ合い学級が一番だめな学級になっている。学力的にね。さて、次に同じような要領でQ-Uって聞いたことあります？これはQ-Uのデータですよ、もちろん。河村茂雄さんがやっているやつ。100人当たりの長期的ないじめを受けているととてもつらいと訴えている割合、小学校のデータです。

1. 4人、3. 4人、5. 0人、さて3つの学級形態のどれでしょう。何型学級がいじめが少ないですか？小学校、中学校また隣の人と見せあっこしてください。ここに満足学級を入れられた方。そう皆さん正解なのです。つまり、満足、管理、なれ合いなのです。実はなれ合い型学級の先生は、一番いじめを発見できにくくなってきています。子どもさん同士が例えば男子系がじゃれ合っている。いつもプロレスの技をかけられている子が同じなのです。ただその先生には、じゃれ合っているようにしか見えない。分かりますか？言っている意味。だから気づかない。今日データをもってきていないけども、なれ合い型学級を作っている先生が一番いじめを発見できないというデータもある。中学校も同じなのです。満足、管理、なれ合いなのです。不登校も同じなのです。満足型学級を作っている先生方のクラスが一番不登校が少ないのです。つまり学級経営の問題だってことです。満足型学級って何が足りたら子どもたちは満足だといえますか？二つ要素があります。ちょっと書いてみてもらっていいですか。この二つができれば不登校対策には、もってこいですよ。一つはね「る」から始まる。一つはルールがあるっていうこと。クラスにルールがあるっていうこと。クラスにルールがないと辛いよ。掃除当番さぼっても許されるクラス。給食当番はでたらめ。あとクラスに友達がいるってというのが二つ目の満足度。その二つです。だから学級経営による不登校の予防においてもいじめられる予防においてもルールをしっかりと確立しているかということと友達作りを教師が意図的にできてるかっていうこと。さっきやったすごろくみたいに、やっていくといいかもしれません。

さて、ここで一旦、今から休憩したいと思います。そしたら皆さん、今日どうしても不登校対策で覚えてほしい言葉は「ソーシャルボンド」って言葉です。皆さん指出してください。さっきやった6人グループのすごろくで全員で指を合わせてみてください。そして、僕のようにやってみてください。かわいくやってくださいね。「ソーシャルボンド」って首を斜めに、そして拍手して10分間の休憩とりますよ。でかい声で行きますよ。せーので行きますよ。「ソーシャルボンド」拍手

10分間休憩。

演習後半

(司会)

それでは後半に入りたいと思います。引き続き金山先生どうぞよろしくお願ひいたします。

(金山先生)

はいありがとうございます、それではみなさんには資料がありませんが、ここの街を皆さんご存知だと思います。携帯電話の中でいじめがおこって不登校が起こっている、ということがすごく多いのです。「ここの街が」、ということではありません。全体的な話です。こちらの街では、小学校4年生の携帯電話の普及率がだいたい4割ぐらいです。小学校6年生ではこのぐらいです。この街の先生おられますか？今日はいらっしゃいませんか。中学校になるとほとんど携帯電話を持っています。小学校の、1年2年3年とは携帯ってどうなっているのでしょうか。これよりも多いという方はどのくらいいらっしゃいますか。4、5、6年生年生より1、2、3年生の方が少ないという方いらっしゃいますでしょうか。携帯は多いでしょうか、少ないすくないでしょうか。携帯電話を持っている数はどうでしょうか。隣と相談してみてください。(しばらく相談) どうですか。(前面のプレゼンのグラフを差しながら) 小学校低学年のほうが多いのです。どうしてかと言

うと今は、どういう問題が起きているかと言うと、家に固定電話がなくなってきているのです。だから子供たちへの連絡はすべて携帯なのです。そうすると今多くなってきているのは、携帯二世と言われる親たちが多くなってきている。だから携帯電話の中でいじめが発生している。

携帯電話の中から不登校になっている。そんなところからお話をしていきたいと思います。さてみなさん、これはなんと書いてあるのでしょうか。一つ重要なメッセージとしてお知らせしたいと思います。携帯電話ではこれが問題だと思っています。隣の方と相談してください。日本語ですよ、大丈夫ですか？あるところで、校長会で会議がありまして、校長先生が聞かれていて、あてました。そしたらトトロと言われました。トトロではありません。そうです、ココロと書いてありますね。大丈夫ですね。じゃあ、これをみてください。彼は誰でしょうか？ぼくのほうを指差していますが、僕ではありませんよ。ある事件を起こしました。そうです、秋葉原事件の容疑者です。私は彼がどんな心境であんな事件をおこしたのか調べています。彼の最後のメールを見てみました。

「一人でいるおれのさびしさなんてお前らにはわからないだろうな、たいへんな不安とか、彼女いるやつも昔は、彼女はいなかったのにみんな忘れちゃっている勝ち組のやつはみんな死んでしまえって」といってあの事件を起こしました。何人も殺しました。そのときの評論家の人たちは「勝ち組」に注目しました。この当時の勝ち組って正規雇用が勝ち組なのです。アルバイトの人たち、フリーターの人たちは負け組と言われていました。この人はフリーターで仕事をしていただけけれど、実は彼の勝ち組は、友だちがいる人たちのこと、彼女がいるやつが勝ち組なわけです。彼は青森高校という青森県で一番の進学校出身です。彼の行っていた病院に講演で呼ばれていきました。そして、彼のことを聞きました。そうしたら、やっぱりコミュニケーション能力が乏しいということでした。つまりネットの中でしかコミュニケーションができない。ネットの中で生きているという感じ。ネットの中でトラブって彼はあんな事件を起こしてしまったのです。ネットのことなのだけでもネットのいじめから不登校になっている例としてはこんな感じです。女の子4人のグループです。グルチャです。グルチャってわかります？グループチャットのことです。

A子 明日町へ買い物いこうよ

B子 いいね

C子 賛成

A子 OK

D子 なんで来るの？

これでいじめになりました。不登校になりました。さて原因は何でしょう？わかります？隣で相談してください。そしたらですね、なんとなく分かるじゃないですか。お聞きしてもいいですか。

(会場)

「A子が最後D子になんで来るのと聞いた。それは交通手段のことを聞いていたつもりだけど、A子は「どうしてあなたが来るの（来なくていいのに）」というふうに聞こえる。」

こういうことでいじめになるのです。ネットの中で不登校が発生しているということです。理解していただければなあと思います。それで僕は、いろんな小中高で出前授業をやっていてどうやって答えたらいいの？という問い合わせがある。D子交通手段は何なの？歩き？それともチャリ？とか。具体的に教えてあげないとだめだということです。これはどうでしょうか？

「今日のドラマ、おもしろくなかった？」

「まだ見てないからこれから見よう」この後、ぬいぐるみのスタンプが送られる。

このぬいぐるみかわいくない？

このあとこれを送った子がいじめにあって不登校になります。なぜでしょう？

これも何か似たような感じですね。大丈夫ですか、ちょっととなりと相談してみてください。こんな些細なことです。これ分かるでしょう。「かわいくない」って本当は可愛いよねというつもりだったのに「かわいくない」となったからこの子がLINEから外されてしまいました。こういうことも学活の中で取り上げていかないと今いじめと不登校が綿密な関係になっています。いじめからくる人間関係のトラブルから不登校に発展しています。今の段階ではネットが多いです。子ども達はなんでも載せます。このサイトはみたことありますか？これはなんとか中学校が集団キスでとった写真です。先生方もすぐ見つけられますよ。何万件もできています。こういうことをやってはだめと教えていかないとだめです。コンビニのこれです。アイスクリームのやつ、とか。こういうことは先生方もすぐに教材作りをされた方がいいです。予防的なことをしないともう手遅れになっています。この写真でコンビニが潰れてしまっています。これ見たことありますか？この娘？この娘知らない？有名なことがあった娘です。となりと相談してください。これは見たことあるでしょう。この娘青森の娘で自殺したのですよ。この娘不登校になれば救われたのだけど不登校になる前に自殺してしまいました。ネット上（LINE）で退会させました。退会させられたのが9時13分です。そしてその直後に自殺しました。子供達は1分間で自殺しますよ。メールで。LINEの中でのことが不登校になればまだいいですが、そのまま自殺になってしまっているのです。こういうことを教材化して学校の中で提供してほしいです。こういうふうにならなくていいのだよと伝えてほしい。まだ、不登校だと許されるよ。現実問題私が、ぼくがこうやって厳しく教えているんだけども例えば書き込み。

アイコはカンニングした。アイコは万引きしたと嘘の情報をLINEで流した。そしたらどうなるか。犯罪的には何になるのか？

アイコきもい、アイコうざいと何ども書いたらどんな罪になりますか？

上は「め」から始まります。アイコきもい、アイコうざいと何ども書いたらどんな罪になりますか？

侮辱罪になります。侮辱罪は刑務所の中で仕事をしなくていいということです。こういうふうな違いなども教えながら子どもたちにネットの使い方を教えて、啓発的なことをしていくことも不登校対策です。なぜかというところから不登校になるからです。

これから一つ事例をみなさんとやっていきたいと思います。やり方はインシデントプロセス法といいます。何にも資料はないです。ぼくのほうから次から次へと質問をしていきますのでみなさんは答えてください。中学校1年生の男の子Aくん、5月の連休後から不登校になりました。原因を究明するために質問してください。情報を得て記録してください。その中で判断してください、アセスメントです。一人1個です。

Q成績は？

とてもよい。

Q友達関係は？

同じ小学校からきた男子生徒といっしょだったので良好です。

Q部活は？

帰宅部

Q家族構成は？

おばあちゃんがあります。お父さん、お母さん、弟、Aくんです。

Q先生担任は？

体育の女の先生です。とても熱心な学年主任でした。

Q アンケートに何か書いていませんでしたか？

5月の連休明けだったのでアンケートはやっていませんでした。書いていませんでした。

Q 小学校のときの出席状況は？

小学校無欠席

Q 夜は何時ごろに寝ていたのでしょうか？

夜更かししてなかった 不登校が続くようになってから昼夜逆転現象になりました。

Q 4月の出席状況は？

良好です。 5月の連休後からぱったり来なくなってしまいました。

Q この子の性格は？

明るい性格 ユーモアのある子でした。

Q 両親ともに仕事はしていますか？

お父さん お父さんはエンジニア お母さんは専業主婦

Q 家族関係は？

良好でなかった。おばあちゃんがうるさい人でした。

Q クラスの中で、元同じ小学校以外で仲のよかった子は？

ほかの小学校の子たちとも分け隔てなく接していました。

Q ゲームはよくしますか？

ゲームは好きな子です。

Q 休み時間何をしていましたか？

ほかの男子生徒と戯れていました。

Q 発達障害はなかったか？

発達障害など感じることはありませんでした。極めて普通の子でした。

Q クラスでいじめられていませんでしたか？

いじめはなかった

Q 何かかわったことは？

何もありません。かわったことがなかったので困っています。

Q 携帯は？

携帯は持っていません。

Q 今はアセスメントです。情報収集をしていますよ。

この子の身体的特徴は？

Q 身長は高いほうでした。少し小太り 体育が苦手というわけではありませんでした。

家庭でのネット環境は？

Q ネット依存ではなかった。

父親とはうまくいっていましたか？

Q 父親とはそんなにうまくいってなかった。

食事はきちんととっていたか？

Q ひきこもるようになってからは、お母さんが部屋の前まで持っていく。Aくんが食べたあと部屋の前に出すようになった。

Q 家での生活の様子は？

プロレスのビデオをみていた。ゲームとかも少しはやっていました。ゲームにこだわっていたわけではありません。

Q 習い事は？

習い事はしていなかった

Q 出身小学校と中学校の規模の違いは？

小学校は4クラスぐらい。中学校は1学年8クラスでした。

Q 親友はいましたか？

仲の良い友達はいた

Q 弟との関係はどうでしたか？

弟の関係はよくなかった

ではグループで相談してみましよう。なぜ、不登校になっているのでしょうか。

まだ、情報が欲しいですよ。今分かっていることはおばあちゃんがいて、お父さんがいてお母さんがいて、Aくんがいて弟がいるという家族構成ですね。Aくんは5月の連休明けからずっと不登校だということです。アセスメントです。診断をしていきましょう。どこの情報が足りませんか？

Q Aくんと弟は実の兄弟ですか？

Aくんと弟は実の弟です。だけど仲が悪いです。

Q おばあさんとは最近どんな様子ですか？

おばあさんは力のある方です。おばあちゃんは、不登校の責任はお母さんにあるガンガン言う。

Q 弟とはいつから仲が悪いんですか？

弟とは4年前ぐらいずっと仲が悪い

Q おばあちゃんとお母さんの関係は？

おばあちゃんとお母さんの関係は極めて劣悪です。

Q お母さんはおばあちゃんに我が子をとられたと言っているし、おばあちゃんは、不登校の責任はお母さんにあるという。親戚付き合いも全部私がするという。

Q 彼が孤食になったのはいつからですか？

担任の先生がくると嫌がるようになった。日中寝るようになった。昼夜逆転になった。

Q 弟には手がかけられますか？

弟には手がかけられます。

Q 弟はいくつで、障害がありますか？

弟はAくんと1歳違いで小学校6年です。弟も不登校です。

Q お母さんとおばあちゃんの仲の悪さにお父さんのどんな関わり方をしていますか？

イニシアチブのとれないお父さんです。

Q Aくんに身体症状があらわれたり、体をこわしたりするようなことがあったんですか？

登校刺激をしたときの部屋に鍵をかけてだれも入れないようにしていました。壁にバンバン頭をぶつけてみたりしていました。家庭内暴力をするようになった。

Q Aくんは家庭の中で居場所があったのでしょうか？

この当時はありませんでした。このへんでAくんがなぜ不登校になったかでしたか？

兄弟で不登校ということはありますよね、おられますか。兄弟で不登校になったときは、学校でなくてほぼ家庭要因です。なぜAくんは不登校になったか相談してみましよう。だれか弟について質問してくれませんか？

Q 弟は手がかかると言っていました、弟はどんな性格ですか？

弟は小学校4、5、6年と不登校、そして年子です。ここまででましたよ。ここまでくればなぜAくんが不登校になったかわかるのではないのでしょうか。

Q お父さんとお母さんは弟が不登校になりました。だからカウンセラーのところにも行きました。病院へも行きました。どこへ行っても上手くいかない。そして無理やり学校へつれてきたこともありました。そして、弟は学校の前でひきつけを起こして来られなくなった。それから弟を学校へ連れてくるのを諦めました。それからへんてこな宗教の壺まで買わせられました。そんなまじめな親でした。それではなぜAくんは不登校なのでしょう、相談してください

おばあちゃんとお母さんの関係が悪くてAくんは疲れてしまった。「おばあちゃんとお母さんの関係が悪くてAくんは疲れてしまった。」からAくんは不登校になってしまった。もう一声ないですか。弟が不登校のときは、両親の関心は弟にいつているので自分が不登校になれば関心を持ってもらえると思った。兄弟の不登校の連鎖。正解です。Aくんは中1、弟は年子なので小6。小4から不登校になっていたのだから全ての関心が弟にいつていたのです。Aくんが中学校へいったら中1ギャップも伴います。Aくんは無意識のうちに自分もかまってもらえるのではないと思った。それでAくんは不登校になった。そして弟はどうして不登校になったか、相談してみましょう。

「おばあちゃんとお母さんの中が悪い、お母さんを守るために不登校になった。」ほぼ正解です。お母さんを守る為に不登校になったんです。弟は無意識の中で不登校になった。じゃあ、この家族をどうやって改善させるのか。おばあちゃんを老人ホームにいれるというのはダメですよ。じゃあ、みなさん、議論してください。この家は二世帯住宅に住んでいます。

「父が見えないということがあったので、お父さんにカウンセリングを受けてもらう。お父さんの家庭での位置を確立する。」素晴らしい。ぼくたちもそうやりました。夏休みに家族でキャンプをいってもらうことにした。お母さんの実家のほうでキャンプすることになった。おばあちゃんがついていくといたのでおばあちゃんには遠慮してもらった。4人家族の中でおばあちゃんの影響がなくて、お父さんの機能を回復するようなアプローチをしました。それから弟はプロレスが好き。弟の昼夜逆転がなおってきた。その弟のカウンセリングに行っていました。遅くなったので弟といっしょにラーメン屋にいった。ラーメン屋のご主人が不登校の子だと知らずに「そろそろ学校祭があるよな？」と問いかけた。Aくんは学校祭のことなど知らなかったのだから、「学校祭覗いてみるか」と私が誘ってみた。次の日学校祭へ行きました。教室のプラネタリウムを見た。教室へ入って座席の名前を見つけた。Aくんが長期に休んでいたが、担任の配慮があった。自分が生活係なのだとして理解することができた。自分が休んでいることを小黒板を見て認識した。だけど、不登校は続いていた。プロレスを見に東京へ行くといいだした。案の定おばあちゃんは反対でした。お父さんはどうしていいかわからなかった。お母さんが一人で東京へ行かせようと言った。お父さんといっしょにネットで見て行き方を探して東京まで一人でいくことになった。また1つ、一歩足を踏み出せた。Aくんをお父さんお母さんも応援している。4月になって新しい担任になりました。担任の先生がよるAくんを連れてきて制服をきせたが、太っていて制服が合わなかった。でも、席の確認をするなどしてAくんは、はじめ保健室登校だったが、だんだん行けるようになった。2年生から来られるようになった。弟も登校することになった。ふたりとも高校へいった。最終的に立命館大学へいった。あるとき、札幌で講演会があって、不登校親の会に呼ばれた。不登校の講演会の前に事例発表があった。その事例を発表していたのが、Aくんの親だった。ぼくはこのときはじめてこのAくんたちがこんなに立派になったということを知った。どんな不登校たちも可能性があることを教えて貰った。兄弟で不登校になっているときは、家族に問題があり、家族を変化させるということです。

みなさんにお配りした紙がありますか、ジョハリの窓と言います。「小さかったころに」というのを見てください。説明だけします。さっきの6人一組になっていただいてよろしいですか？名前を確認してください。じゃんけんで負けた人を一人決めてください。一番負けた人を金山さんとします。その「金山さんの小さかった頃は？」と皆さんで大きな声でといます。で、金山さんは「ぼくの小さかった頃は～です」と答えます。その次は「斉藤さんの小さかった頃は？」といます。いいですか。やってみましょう。

各グループで演習

これは、「ジョハリの窓」っていうエクササイズです。このエクササイズもすごく人気があります。子どもたちにやるといいです。お互いの自己開示ができるエクササイズなのでつかってみていただければなと思います。不登校の予防とかにも使えると思います。

最後にこの話をして終わりにしたいと思います。子どもの対応ということで、納得と説得は違います。子どもを説得しても子どもは変わりません。納得してはじめて動き出します。ですから私たちは子どもを納得できる技を持たなければならないということです。あと、個は集団で育まれるということでひきこもって10年たっても何も育まれない。集団の中ではいろんなトラブルがあります。そのトラブルの中でこそ子どもたちを育ていかなければならない。だから集団というものはとても大切だと思います。それから大事なことはソーシャルボンドということです。誰かと誰かをあえて教師が繋げていく、最後にやったのも繋げていくプログラムです。意図的に繋げていくことが不登校対策に最も大切な、予防的なものになると考えています。四つ目は背中を押して、言葉を大切にしようよということなのです。小学校の発達課題って何ですか？小学校の発達課題はよく遊ぶことなのです。大学生の発達課題は生き方を見つけることです。ぼくたちの発達課題はなんでしょうか。ぼくにもいろいろな悩みがあります。ぼくたちも発達課題を背負いながら頑張っていきたいですね。発達課題は成長課題です。私たちも発達課題と向き合っていきましょう。

本日はありがとうございました。

質疑応答の時間にします。

<会場>

大切なことは体制をどう作るかだと思います。今日学んだことは帰ってからどれだけ広がるか、それが大事だと思います。その辺で何かアドバイスいただけたらと思います。

「金山」

不登校対策で一番大事なのは、不登校対策のシステム作りだと思います。お願いしたいのは仲間を3人作ってほしいです。3人でできればなんとかできますよ。1人だとシステムを作るのは大変です。教育課程の中に子ども同士を繋げられるような年間計画を入れられるかどうか勝負の分かれ目だと思います。定期的に不登校の委員会を開催するというのも重要です。不登校対策委員会がきちんと機能しているかどうかどうかが大切です。

<会場>

最近子供が幼くなっている。本来6年生で完了していることを中1でしないといけない、というようなことはないか？（幼さに起因している問題はないか？）

「金山」

今大学で困っていることは子どもたち同士が繋がらないということです。大学の食堂は孤食になっている。衝立がたっているのです。他にも「便所飯」がある。コンビニ弁当をもってきてトイレで食べるんです。大学で子どもたち同士が繋がらない。(国立)大学生のピアサポート率が80パーセントあります。大学で子ども同士を繋げていこうということをしなくて繋がらなくなっている。なぜかというと小学校でみんなゲーム

をしている。ゲームをやりながらだと子ども同士繋がらないのです。昔は外で野球やサッカーなどをしていました。いろんなルールを自分たちで作っていましたね。繋がるのがとても難しい時代になっている。だから小中学校、特別支援学校の教育が大変重要になっています。意図的に教師が子どもたち同士を繋げていかなければならないということです。

#### <会場>

今かかわっている子どもで、小5で発達障害があり不登校です。問題は、母親が学校否定で「本人がいやなら学校は行かせません」と言っています。本人は発達障害もあって家庭のなかでは好きなことしかしていない状況である。母親がPCやタブレットを買い与えネット上でつながろうとしている。昼夜逆転しています。母親はカウンセリングに行かれたときには、言葉としては適切な言葉を発している。しかし、なかなかうまくいかない。シングルマザーであるがどのようにアプローチしていけばいいのでしょうか。

#### 「金山」

発達障害の子を持つ保護者も発達障害である場合がある。自分たちも精神的なものを抱えている。そんな母親に子どもの話ばかりしていてもなかなか通じないことがある。僕だったらお母さんを慰労するようなカウンセリングをします。母親にはネガティブな情報しか入らない。お母さんの根本的な悩みも受け止めてあげればいいと思います。そうすれば振り向いてくれるかもしれません。深く入り込めるかどうかわかりませんが、お母さん自身を支えるようなことが必要かなと思います。今、総合的に取り組んでおられるようなので継続して取り組んでいただきたい。